

見積仕様書

第1節 業務概要

本業務は、ロックフィルダムの浸透量計測のために設置している導水管の管内状況等を把握することを目的として、押込み式カメラ等を用いて管内撮影を行うものです。
対象施設は、木曽川水系の味噌川ダムとします。

第2節 業務内容

2-1 計画準備

受注者は、作業実施に先立ち、業務の目的を十分に把握した上で作業実施方針、作業工程及び実施体制等の作業計画書を策定します。併せて、本業務に必要な資料を収集・整理するものとします。

2-2 管内撮影

1. 管内撮影は、浸透観測室からダム堤体までの間に埋設されている導水管 No.3（管径 150mm・対象延長 20.1m）と導水管 No.6（管径 250mm・対象延長 20.1m）の管内撮影を行うものです。導水管は、無圧（自然流下）管路です。
2. 撮影機材として管径 150mm の導水管は押込み式カメラ、管径 250mm の導水管は自走式のテレビカメラ車（直視・側視が可能）を使用することを想定しています。撮影機種の指定はしません。適宜想定して下さい。その仕様及び実績が分かる資料を事前に発注者に提出し、事前に承諾を得ることとします。
3. 浸透量観測室の導水管の吐口部に設置されているフランジ継手については、受注者において撮影開始前の取外し、撮影終了後の再設置を行うこととします。
4. 撮影にあたっては、管の破損、継手部の不良、クラック等に十分注意しながら、撮影対象区間をカラーで撮影し、鮮明な動画を収録するものとします。収録データについては、管路毎に MPEG 形式等で収録するものとし、撮影箇所が分かるようにするものとします。
5. 撮影に際して閉塞物質が確認されて撮影困難な場合は、高圧水による管内洗浄を行うものとします。高圧水による洗浄を行う場合は、管路に損傷を与えないよう圧力調整するものとします。高圧水による管内洗浄の回数は2回を想定しています。管内洗浄に用いる清水については、浸透量観測室の屋外に設置されている貯水タンク（1,000 リットル）に貯留している清水を使用できるものとしますが、給水車等が必要な場合は、受注者において準備するものとします。給水車等の車両の駐車スペースは、浸透量観測室の入口付近に確保されています。管内撮影の際に発生した閉塞物質（汚泥等）の一時保管場所は、発注者が指示します。閉塞物質の最終処分については、発注者が行うものとします。

6. 現地作業の時間帯は、準備及び後片付けも含めて、8時30分から17時までとします。作業日数は、2日程度（準備と後片付けを含む）を想定しています。

2-4 成果品

1. 成果品には、以下のデータを含むものとします。
 - (1) 作業計画書
 - (2) 管内撮影結果（管内撮影動画）
 - (3) 撮影実施状況写真

第3節 その他

1. 対象施設の場所は、以下のとおりです。

長野県木曽郡木祖村小木曽 2058-22

独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所 味噌川ダム管理所

2. 撮影結果の評価分析及び考察については、別途業務で行う予定であることから、本業務の見積の対象外とします。

—以 上—